



令和4年度 若竹

夢と思いやりをもち、
しなやかに生きる力を身につけた児童の育成
～最後までやり抜く子どもをめざして～

～山北小学校だより～ No. 9

令和 5 年 1 月 23 日 文責 藤本

●2023年スタート ～後期後半スタート～

1月11日、冬休み明け集会を行いました。前回の集会に引き続き、オンラインでの開催となりましたが、2年岩野朱里さん、4年元田蓮さん、6年山野斗聖さんが冬休みの反省とこれからがんばりたいことをしっかりと発表してくれました。校長からは校庭に咲く桜の冬芽（花芽と葉芽）の写真から、残りの三ヶ月が次の準備の期間であることの話をしました。そして、今年の漢字として「跳」を示して、目標に向かって自分の足で跳躍したいとの思いを伝えました。

●心を込めて～もちつき大会～

1月13日（金）、もちつきをしました。新型コロナウイルスの影響で、実施も危ぶまれましたが、保護者のご協力の下、なんとか実施することができました。ここ数年実施していなかったので準備や段取りがうまくいくか心配していましたが、約30kgの餅米を蒸し上げ、たくさんもちをつくことができました。当日は、食べることはできませんでしたが、杵と臼でついた餅はとてもおいしかったとの感想をいただきました。

●炎と煙でお見送り ～どんどこやともぐらたたき～

1月14日（土）、どんどこやともぐらうちをしました。これもコロナの影響で本格的などんどこやともぐらうちもできていませんでしたが、参加人数の制限や感染対策を講じた上での開催でした。当日の朝まで雨が降っており、コンディション的には厳しい条件が重なりましたが、雨も上がり、PTA役員の皆様や5・6年生の協力でグラウンド整備を行い、なんとか実施することができました。もぐらうちでは、児童全員がもぐら打ち棒を持って、かけ声に合わせて地面を力強くたたきました。その後、点火式を行い、10mを超える高さに積み上げられた檜に火をつけて、お飾りや習字と一緒に燃やしました。雨で濡れていたため中々火の勢いが強まりませんが、役員の皆様のお陰で最後まで燃やすことができました。地域の伝統的な行事を体験・継承できたことに、心より感謝いたします。

●もしもに備えて ～災害時の引き渡し訓練～

1月14日（土）、どんどこやに引き続き、災害時の児童引き渡し訓練を行いました。本来ならば、年度当初に実施すべき訓練ですが、この時期の実施となりました。地震や洪水、土砂崩れなどの自然災害はいつ起こるか分かりません。今回、初めての試みとして、ドライブスルー方式の引き渡しを行いました。今回の訓練を基準に、更なる安全・安心をめざし改善していきます。ご協力ありがとうございました。

